

# 講座だより

第4号  
9月発行

8月30日(土)に「三島商工会議所」にて第4回目の養成講座を実施しました。第4回講座では「教材としての森林体験」と題し、午前中はキープ協会の坂川実基氏をお招きして森林を活用した体験、午後は共育工房IPPOの福島計一氏をお招きして木材を活用した体験を実施しました。以下、講座の様子です。



【講師の坂川実基氏】



【プログラム体験の様子】

午前中は坂川氏による、森林の中でのプログラムを体験する時間でした。「意識して観る」をテーマとして、グループで協力して取り組むアクティビティや、鏡や虫眼鏡などの小道具を活用したアクティビティなど、まさに視点を変えるプログラムが実施されました。特に小道具を活用したアクティビティの最中には、「鏡にこんな使い方があったなんて！」などの驚きの声や、「次の観察会でやろう！」という意欲的な声も聞かれました。



【講師の福島計一氏】



【プログラム体験の様子】

午後は福島氏による、木材を活用したプログラムを体験する時間でした。スライスした丸太を割って作った木のかけら。そのかけらに想いを込めながら紙やすりで削り、木のぬくもりを感じられるお守り作りを行いました。少しずつ目の細かい紙やすりに代えるにつれて、かけらのさわり心地や木の香りの変化などを感じながら作成しました。食べ物と同じで木の命を頂いているという講師の言葉には、受講生も真剣な表情で聞き入っていました。

《発行元》

静岡県くらし・環境部環境局環境ふれあい課

電話:054-221-2849 Eメール:fureai@pref.shizuoka.lg.jp